

あすなろ

Winter
2022

No.138

特集：診療体制が変わります
大腸がん検診を受けましょう！



発行：永田内科・消化器科医院

診療体制が変わります

令和4年1月より医師が2名となり、診療体制が変わります。
開業以来診療してきました永田成治に、新たに永田浩一が加わります。

医師紹介

永田 浩一：永田内科・消化器科医院 院長
福島県立医科大学 消化器内科学講座 特任教授（併任）
国立がん研究センター 中央病院 検診センター 客員研究員
自治医科大学 放射線科 非常勤講師



ご挨拶

私はこれまで、東京女子医科大学、ハーバード大学医学部、国立がん研究センター、福島県立医科大学等で消化器科、内視鏡科などを専門とし研鑽を積んで参りました。

この度、私が育ったゆかりの深い袋井市にて地域の皆様の診療をさせて戴くことを嬉しく思っています。消化器科専門医・指導医として、消化器疾患の診療、消化器内視鏡（胃・大腸）による検査・治療、大腸CT検査診断といった消化器領域の専門性の高い疾患から一般内科まで幅広く診療いたします。最先端の内視鏡技術を駆使し、最新のエビデンスに基づいた安全で正確な、苦痛の少ない消化器内視鏡（胃・大腸）を受けて頂き、大腸がんや胃がんなどを早期に発見・治療して参ります。

地域の皆様の頼れる『健康創造パートナー』を信条に、専門性を活かしながら消化器内科、胃腸内科、一般内科を通して地域医療に貢献してまいります。お身体の不調など、お気軽にご相談下さい。

略歴

袋井市立若草幼稚園、袋井北小学校、静岡大学教育学部附属中学校、静岡県立浜松北高等学校を経て

1996年 国立群馬大学医学部医学科卒業
1996年～2001年 東京女子医科大学附属第二病院（現 東医療センター）外科
2001年～2007年 昭和大学横浜市北部病院 消化器病センター
2007年～2011年 ハーバード大学医学部 放射線科留学
2011年～2014年 亀田メディカルセンター 消化器科・放射線科部長
2014年～2015年 NTT東日本伊豆病院 検診センター 特任部長
2015年～2019年 国立がん研究センター 検診研究部 検診評価研究室長
2018年4月～現在 国立がん研究センター 中央病院 検診センター（併任）
2019年4月～現在 福島県立医科大学 消化器内科学講座 特任教授（併任）

資格

日本消化器内視鏡学会：専門医、指導医
日本消化器病学会：専門医、指導医
日本消化器がん検診学会：総合認定医
日本外科学会：認定医、認定登録医
日本消化管学会：胃腸科専門医

医療法人 社団健誠会

永田内科・消化器科医院

診療時間：平日 午前8：30～12：00 午後2：00～5：00
水・土曜日 午前8：30～12：00
休診日：日曜日、祝日、毎月第2・最終土曜日
水・土曜日午後、年末年始

<p>理事長：永田 成治</p> <p>資格</p> <p>日本内科学会：認定内科医 日本臨床内科学会：臨床内科専門医 日本消化器病学会：消化器病専門医 日本消化器内視鏡学会：消化器内視鏡専門医 日本肝臓学会：専門医 日本抗加齢医学会：専門医 日本糖尿病学会：会員</p>	<p>院長：永田 浩一</p> <p>資格</p> <p>日本外科学会：認定医、認定登録医 日本消化器病学会：消化器病専門医・指導医 日本消化器内視鏡学会：消化器内視鏡専門医・指導医 日本消化器がん検診学会：総合認定医 日本消化管学会：胃腸科専門医</p>
---	---

今後は今までの診療に加えて、消化器内視鏡専門医・指導医の永田浩一医師が最新の検査・治療を一層充実させて参ります。

お待たせしない、苦痛の少ない胃内視鏡、大腸内視鏡を行ってまいります。

診 察

	月	火	水	木	金	土
午前 8:30 ↓ 12:00	永田 成治	永田 成治	永田 成治	永田 成治	永田 成治	永田 成治
午後 14:00 ↓ 17:00	永田 成治	永田 浩一	休診	永田 成治	永田 浩一	休診

土曜日：従来通り 第2土曜日、最終土曜日は休診です。

内視鏡検査 (担当：永田浩一)

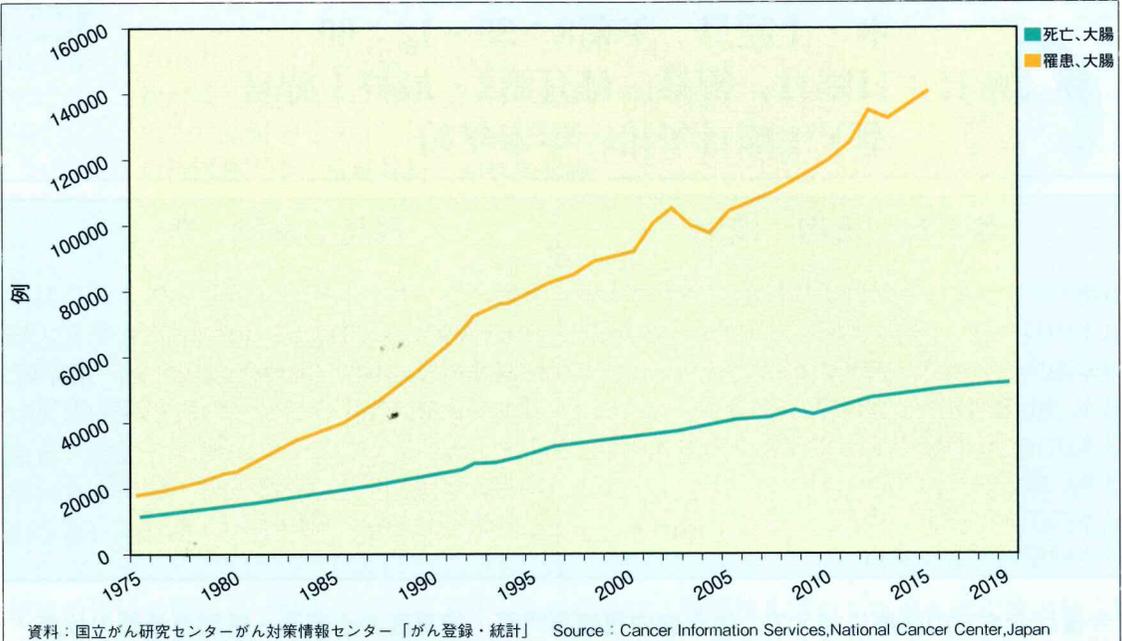
	月	火	水	木	金	土
午前	10:00～12:00 胃	8:30～12:00 胃・大腸	なし	10:00～12:00 胃	8:30～12:00 胃・大腸	なし
午後 14:00 ↓ 17:00	大腸	診察	休診	大腸	診察	休診

大腸内視鏡検査には鎮静剤を使用しますので、車の運転は出来ません。
 車での来院はご遠慮下さい。

大腸がん検診を受けましょう！

大腸がんの罹患数（新に診断されること）、死亡数は年々増加しています（図1）。

図1 大腸がんの罹患数と死亡数の推移



2018年の大腸がん（結腸がん＋直腸がん）の罹患数は、男性では前立腺がん、胃がんについて3番目に多いがん（2018年：86,414人）です。女性では乳がんについて2番目に多いがん（65,840人）です（3番目は肺がん）（表1）。

死亡数をみると男性では肺がん、胃がんに次いで3番目（2019年：27,416人）です。女性では死亡数の1位は大腸がん（24,004人）です（2番目は肺がん、3番目は膵臓がんです）（表2）。

便潜血検査による大腸がん検診は、がん検診の中でも死亡率が下がることが最もよく証明されています。便潜血検査による大腸がん検診を受けた人では、死亡率が60～80%低下し、進行がんが約50%減ります。

便潜血検査で「要精密検査」（陽性）という結果が出るのは約7%、そして精密検査の後に実際に大腸がんと診断されるのは0.1～0.2%で、そのうちの約70%が早期がんです。

ポリープを含めると3人に1人から病変が見つかっています。

2017年度の大腸がん検診で精密検査が必要とされた約15万4千人のうち、実際に精密検査を受けた人は約10万6千人（約69%）です。

しかし静岡県を見てみると全国平均よりかなり下です（図2）。

便潜血反応は簡単な検査ですし、もし陽性になったら是非精密検査—大腸内視鏡検査を受けましょう。

当院では消化器内視鏡専門医・指導医が苦痛の少ない大腸内視鏡検査・治療を行っています。

表1 がんの罹患数(2018年)

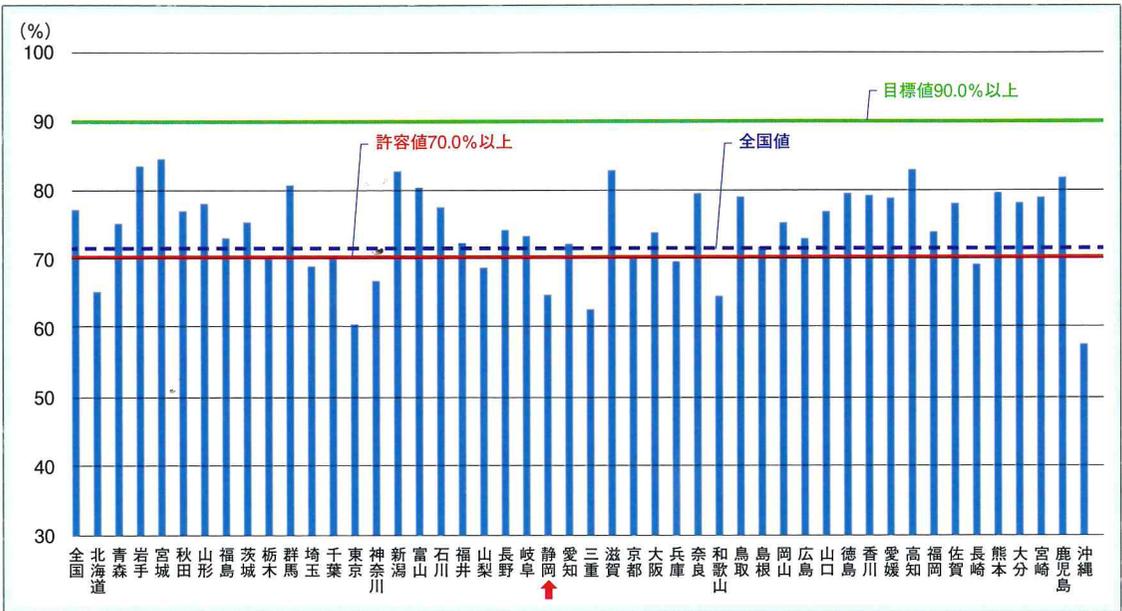
順位	男性	女性
1	前立腺がん(92,021人)	乳がん(93,858人)
2	胃がん(86,905人)	大腸がん(65,840人)
3	大腸がん(86,414人)	肺がん(40,777人)
4	肺がん(82,046人)	胃がん(39,103人)
5	肝臓がん(26,163人)	子宮がん(28,542人)

表2 がん死亡数(2018年)

順位	男性	女性
1	肺がん(53,338人)	大腸がん(24,004人)
2	胃がん(28,043人)	肺がん(22,056人)
3	大腸がん(27,416人)	膵臓がん(18,232人)
4	膵臓がん(18,124人)	胃がん(14,888人)
5	肝臓がん(16,750人)	乳がん(14,839人)

図2 大腸がん検診-精検受信率 (40-74歳 男女計平成30年度)

令和元年度 地域保健・健康増進事業報告より (大腸がん検診：便潜血検査)



栄養士からひと言 最近滑舌が悪くなっていませんか？

最近、よく聞き返されることがありませんか？マスクをつけているせいかと思っているかもしれませんが、頻繁に聞き返されるのは滑舌が悪くなっているせいかも知れません。

おしゃべりも減ったり、食事でも軟らかい物ばかりで噛む回数が減り、口の機能が落ちているかも知れません。口の機能が衰えると「噛みにくい」「飲み込みにくい」「むせやすくなった」「口の中が乾く」「滑舌が悪くなった」などいくつかの症状が表れてきて、その先全身機能の衰え(オーラルフレイル)に繋がってきてしまいます。口腔トレーニング(パタカラ*1などの音をはっきり発音する)も大事ですが、まずはよく噛んで食べてみましょう。

加工食品やファーストフードばかりにならず「まごはやさしい」*2の食育で言われる様な食品を日常に増やしていきましょう。

*1パピブペボ、タチツテト、カキクケコ、ラルルレロ *2豆、胡麻、ワカメ、野菜、魚、椎茸、芋などです

顧みる日々 (7)



山本 學(俳優)

「あすなる」20年度のエッセーは私の胃癌の話ばかりだった。胃切除の後遺症の最大の悩みは食べる意欲の低下だ。2年で13Kg痩せた。腕と太股が細くなり、皮下脂肪がなくなり下腹と臀部に5ミリの皺が細波のように刻まれ、自分の体が気味悪く、正視出来なくなった。コロナ感染への恐怖から家籠もりに徹した。私は買い物はメモを見て、郊外のスーパーを風のように駆け抜け、行き帰りの車の運転は、80代の車突入老人にならぬよう、ソロソロ走り、外食はせず、介護認定を受けなくてはと思いながらも、自炊の日を続けた。

困るのは家籠もりによる脳の老化だ。人の名前が、この人かと思った途端に回線がショートして絶対に思い出せない。不思議な断絶だ。更に困るのは、文章の構成が出来ないことだ。

「あすなる」エッセーの「顧みる日々」5、6は何故か東宝の争議の話と、下北沢の劇場建設の顛末だった。永田先生に脳の低下で原稿は無理ですと訴えても「大丈夫ですよ」と一蹴され、締め切りが迫って今は泥縄式で稿に取り組んでいる。

平成8年TBSで「白愁の時・精神余命1年」という、緒方拳さんとの医学ドラマでは、認知症と言わず、精神余命と患者に気遣った言葉遣いだった。

私は精神余命3年と宣言して「顧みる」の本題に入る。

今迄のエッセーで俳優になった様子は書いたが、その出演作品については書いた記憶がない。全然思い出せない作品も多い。俳優の仕事は上演したら、それで終わり。作品について語るのは、観てくださった人の権利というのが私の信条なのだ。しかし今回はその禁を破ってみる。何かが生まれるかもしれない。

昭和33年俳優養成所の事務から「東京放送(TBS)から6ヶ月の連続ドラマへの出演依頼がありました。学校は仕事の幹旋はしないので、あとは自分でやって下さい」と言われた。

生徒の顔写真から選考されたそうで同期の露口茂と私が選ばれた。

「私は舞台装置を目指しているのだから、俳優は素人で出来ません」と断ると係の人は「そんなに硬く考えずに、外国ロケもあるんですよ。一人で演ずるのじゃなく若者4人の話ですから」「外国のロケですか!!」「はい船員の役ですから」「断りに来て済みませんが、気が変わりました。私やります」海外ロケの一言にすべてが吹っ飛んだのだ。

VTRの無い時代、ドラマは生放送だった。生で出来ない処は、フィルムに撮ってスタジオの場面につないだ。スタジオでは三台のカメラで、セットで芝居する役者を撮影した。凝った事は出来ず、映画人からは、電気紙芝居と蔑まれた。俳優も演ずるより、時間内に

終るように、練習通りの時間で間違えずに喋れることが、演技の絶対条件だった。これでは演技ではなくスポーツだ。同期の俳優志望の友人に指導を受けたが仲々自然に笑えなくて、ひきつり笑いになり苦労した。放送が始まり3ヶ月で年が替り、番組は続いていたが、私は3年間の養成所を卒業した。

卒業公演も終わり、一緒にテレビに出ていた露口茂は新人会という小沢昭一、渡邊美佐子らの翻訳劇の上演の多い劇団に入り、同期生の田中邦衛、井川比佐志は俳優座に入団した。

私は装置家志望で俳優として引き取ってくれる処がなく、露口茂の口添えで彼と同じ新人会に裏方として入れてもらった。テレビは1本の作品の製作に5日の時間が必要なため、生活を支えていたバイトのサンドイッチマンと歌劇舞台の裏方の口も失った。

時給80円の時代のテレビの出演料は1本4千円だった。自分名義の貯金通帳も初めて作れた。

入団した劇団の定期公演田中千禾夫（田中澄江のご主人）作「マリアの首」は新人会の当り芝居だった。劇団の役者達は、テレビの俳優とは風格と存在感が違った。

裏方の私は舞台袖で渡辺美佐子の透明で響のよい台詞を毎日聞き惚れた。

次の年、そろそろ貯金も底をついた頃、劇団の映画放送のマネージャーが「學さんテレビの仕事が来てますが、どうします」「いや役者は駄目です」「そうですか、舞台と違ってテレビなら、貴方でもいけると思いますが」2日程して「日本テレビの女性演出家がどうしても出演してと言ってます」と再度のオファーが来た。相手の熱意に負けた。放送後、東京放送の東芝日曜劇場の石井ふく子

ロデューサーから「かみさんと私」というホームドラマへの出演を求められた。「貴方のテレビを見た上でのお願いだから、大威張りで大丈夫」と諭された。新派の名代の石井寛と若い京塚昌子、長谷川裕美子（船越英一郎の母親）、三ツ矢歌子、大空真弓の家族だった。稽古は1週間、本読み、立稽古で皆は家族のように、自信のない私を支えてくれた。末っ子でユーモラスな健二という役で引きつった笑いでない、本当の笑いを求められた。軽い笑いを醸す役だった。番組の評判が良く、それから年に2回の製作で1973年石井寛が亡くなるまで32話、12年のロングランだった。

近年の橋田寿賀子作「渡る世間は鬼ばかり」のホームドラマの原形だった。

私はこのチームから、日常的な軽い芝居を教え込まれた。石井寛の引きで新派の舞台にも出演させてもらい、商業芝居における劇場の仕来りも仕込まれた。

石井プロデューサーのお陰で、東芝日曜劇場千本の中で男性出演者で3位の出演をさせて戴いた。その役柄は30種は越えている。お陰で映画・演劇界の女優の相手役として共演が出来た。共演のないのは初代水谷八重子くらいという贅沢な経験だった。

思い返すと私の技の70%以上は東芝日曜劇場で石井親子に育ててもらった。

生涯で5本に入るヒット作となった「愛と死をみつめて」も東芝日曜劇場の大ヒット作品だった。

テレビ出演3年目からの話は次回で。(敬称略)

エッセー補遺

テレビ初出演：連続ドラマ「少年航路」(TBS)
出演／露口茂 長門裕之 鈴木美邦 他
1958(昭和33)年9月26日～1959(昭和34)年6月26日

お願い

- ※保険証は毎月1度、窓口にご提示下さい。
保険証が変わった時は、出来るだけ早くお見せ下さい。
- ※「かかりつけ薬局」を変更される場合は窓口にお知らせ下さい。

休診のお知らせ

- ・年末年始休診
2021年12月29日(水)～2022年1月3日(月)

ホームページ
リニューアル中です

お知らせ

- 頸動脈、甲状腺、腹部超音波検査ができます
月、火、木、金、AM9:30～12:00(予約制)
- 栄養士による栄養相談を行っています(1回45分、
保険扱い)
火、木:PM1:15 2:15
火:山本さとみ管理栄養士
木:杉浦千代美管理栄養士
- 各種予防注射:袋井市、掛川市、磐田市、森町に
お住まいの方も当院でできます。



37.5度以上の熱のある方はまずお電話下さい!

電話：0538-43-2355

電話で病状をお聞きし、必要があれば完全予約制の午後2時からの発熱外来にお越し頂き、まず駐車場で、新型コロナウイルス抗原(COVID19抗原)、必要に応じてPCR検査をさせていただきます。

あとかき

明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願ひ申し上げます。

わが国は海外のコロナ感染状況とは異なって感染力の強いと言われているオミクロン株の流行も見られず、患者発生も少ない状態が続いています。海外の状況を見るとわが国だけが例外ともいえないでしょうが、今まで通りの感染対策と出来るだけ早く3回目のワクチン接種で備えたいものです。当院でも接種方法が決まれば個別接種を始める予定です。

さてご案内の通り永田成治一人で33年間やってまいりました診療体制が、息子の永田浩一が加わり消化器内視鏡検査を中心に一層充実して参ります。暫くは永田成治も今まで通りの診療を続けてまいります。またこれを契機にカルテも紙カルテから電子カルテに変更します。どうか宜しくお願ひ致します。(永田成治)

発行日：2022年1月1日
発行者：永田成治
発行所：静岡県袋井市川井856-9(〒437-0064)
医療法人社団 健誠会
永田内科・消化器科医院
TEL.0538-43-2355 FAX.0538-43-1328
表紙：青島嘉江子
印刷所：中部印刷株式会社